

平成25年度事業報告書

養護老人ホーム 大慈吉祥園

1. <平成25年度法人ヴィジョン>

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. <基本方針>

法人の基本方針である「和顔愛語」「上敬下愛」に基づき、ゲストが施設の中で人間として尊厳を保ち、健やかで快適かつ生きがいのある生活が営めるように努める。措置施設として社会的役割を果たせるように努める。

3. <長期目標>

ゲストが年齢を重ね、どのような状態になっても、この終の棲家で「自分らしく」1人の人間としての誇りをもって生活できるような環境をつくる。

<施設中期目標>

5S活動を通し、ゲスト・職員が常に過ごしやすい、働きやすい環境を作る。

※5Sとは・・・整理、整頓、掃除、清潔、習慣のこと。

<施設年度目標>

①ゲスト満足の向上を図る。

A) 身体的自立を支援する。

- ・排泄の自立につながる基本的ケアの実践。
- ・ゲスト同士の話し合いを通し、自然療法の啓発を行う。

自立に繋がる基本的ケアに関しては、年度後半より段々良い状態になってきている。特に水分補給、生活リハとも全般的に上がって来た。水分量では1500mlを目標としたが、看取り期に入っているゲスト1人が500ml程、今まで350mlを推移していたゲストが1000mlまで上がり安定してきた。その2名のゲスト以外は1500mlを達成出来た。生活リハに関しては対象ゲストに留まるが、ゲストの状態に合わせたメニューを毎日実施し、プラスお手伝いなどの役割を持って頂くことで関わりを増やしていった。

ゲスト自身も出来る事が少しずつ増えていく事で自信に繋がっているように感じる。

ゲストへの自然療法の啓発では、『入居者話し合い』を利用し、豆知識として熱中症の予防、肺炎球菌、骨を強くする、高血圧の予防、足を上げて歩く等のミニ研修を実施した。また、資料を廊下に貼り出したことで、自立のゲストは足を止め一度は読まれている。歯科衛生士に協力頂き、口腔ケアの大切さ・歯の磨き方などの研修も出来た。自分の事は自分で出来る生活が出来ただけ長く続くよう、来期も継続していきたい。

B) QOLの向上を図る。

- ・笑顔の発見。(年1000件以上計測・数量化)
- ・感謝の言葉をもらう。(年1000件以上計測・数量化)
- ・レジェンドケースにつなげる(3件以上、ケース・書類作成し提出)

笑顔の発見 1000 件、感謝の言葉 1000 件に関して、出来る限り数字を計上しようとしたが、愛想での笑顔や有難うの言葉が多く、ゲストの気持ちや心からの感謝の言葉を、量る事が難しいこと、業務をしながら覚えて記録する時間がないなどの理由で、途中で中断した。レジェンドに関しては、1ヶ月にひとつの割合で進めていき6件計上、その内2件ノミネートされた。今回1位を頂いたが、ゲスト一人にしぼり感動してもらう事は、さほど難しい事ではないと思っている。ケアハウスの「オープン・ザ・ドア」が今の吉祥園で出来るかなと考え、疑問に思い、疑問を投げかけ、皆で考え、改善していく力やチームワークが備わっていないことを改めて認識する。接遇面や知識・技術の不足、気づきや気配りなど全てにおいて底上げする必要がある。

②職員満足の上をを図る。

A) 5S運動の推進を図る。

- ・5S推進プロジェクト発足。
- ・ルールを確立。
- ・改善システムを作り、徹底させる。

5Sに関してはフロア内、ほぼ清潔を保っている。シルバー人材派遣を導入したことで居室内も落ち着いている。朝5分/1日の整理タイムを設けているが完全には徹底出来ていない。特に日勤帯でゲストに関するチェック表類をうっかり職員室カウンターに置く、業務が立て込むと書類関係や係の道具・荷物を乱雑に置き、放置するなど疎かになりがちである。また、見かけを綺麗に見せることを重点に置き、必要な時に直ぐ取り出せないなど、問題もあったがそれについては徐々に改善できた。朝5分/1日整理と定期的な見直し・整理は今後とも徹底させていきたい。

B) チーム力の上をを図る。

- ・人材育成の強化。
- ・個人の人格と能力の上をを図る。(園長セミナー、ミニ研修3回/月)
- ・信頼関係・組織文化の上をを図る。(園長セミナーを通し、価値観を共有させる)

この一年で一番問題点が多く、考えることが多かった。職員が個々に動いており連携が取れていない事、中々動き出せない職員、言い合えない同僚、共有の徹底が出来ていない事などで、途中でチームビルドを行い改善が見られたが、続けなかった事で元に戻りつつある。業務や目標においても職員間で意欲の差も出ており、特定の職員への不満に繋がった。知識や技術面では要介護度の高いゲストをデイ入浴サービス、特養への移動、看取り件数が少ないなど、日々の業務の中だけでは習得し難いことが上がる。接遇、コミュニケーション力、介護の基礎知識・技術、考える力や気づき・気づきが少ないなど全てにおいて、もう一度見直し、育成していく必要がある。

★年齢別ゲスト数 (定員70名) (女性48名) (男性22名) H26年3月31日現在

年 性	年								合計
	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～104	
女	0	0	6	9	15	9	8	1	48名
男	1	6	3	5	4	1	2	0	22名
合計	1	6	9	14	19	10	10	1	70名

最高齢	103歳	平均年齢	85歳9か月
-----	------	------	--------

★要介護度状況

H26年3月31日現在

項目	男	女	計
その他（非該当）	3	7	10
要支援1	1	0	2
要支援2	1	2	3
要介護度1	8	16	24
要介護度2	3	11	15
要介護度3	5	2	7
要介護度4	2	12	6
要介護度5	0	3	3
合計	22名	48名	70名
平均要介護度	1.8	2.1	男女平均 1.95

4. <理学療法科>

①個別機能レベルの維持

A) 廃用性によるレベル低下の防止（疾患等によるもの以外）

B) 緩和治療の充実

日常生活内におけるリハビリの提言は随時に指導出来た。また、現場職員への浸透を図る事で、ゲストに対してスムーズに指導・アドバイスが実施出来る様になって来ており良い傾向が見受けられている。次年度においても、現場職員の能力の向上を図ると共に、生活リハビリの充実を図って行きたい。緩和治療の充実に関しては現状において伸び悩んでおり、医師との相談の上、対象者の確保と、緩和治療の実施に務めて行きたい。

5. <栄養科>

①食事面から身体的自立を支援する

A) 食事形態アセスメントシートを活用し、他職種で評価決定し情報を共有する。

給食委員が中心となり、食事形態変更の食事カンファレンスを行ったが、年度前半はできていない。年度中頃から対象者を選定し、他職種が集まり食事カンファレンスを11件行い形態 Up91%、Down9%であった。摂食機能に問題ないゲストが多いが、変化に早期に対応するため、現状の食事形態での問題点や、形態を維持するために必要な環境を職員自身が理解することで、ゲストが食事ができる食事内容の幅を狭めないよう援助していく必要がある。今後アセスメントが給食委員だけでなく、担当も行えるようにしていきたい。

B) 各部署の部門チームと情報を交換する。

新人職員が多いこともあり、形態 Up 可能と思われるゲストの選定ができるよう、バイキングや食事行事でのゲストの観察ポイントや、可能性を発見する方法について食事部門と検討を重ねた。食事アセスメントから他職種で行い、食事カンファレンスの結果は食事係と共有し、変化ある際は、アセスメントから開始するよう手順を作った。

C) 食事形態アセスメントシートの項目を見直し、更新する。

年度末は、感染症の影響により予定通りすすめることができなかつたが、弥勒園の内容も参考にして、アセスメントシートの項目の見直しを行った。

②食生活の質を向上

A) 各フロアと厨房の調整

給食委員会を通じ、他フロアの食事行事の体験や反省による意見交換をすることで、担当部署の給食委員と計画し、食事行事へとりいれた。厨房の調整については、行事等の打ち合わせを事前に行い、委託業者の協力を得ながら取り組むことができた。また、委託業者からの期間限定商品や新製品の情報を集め、給食委員会で試食をし、献立に取り入れた。パンやおやつ等はゲストからも好評であった。

B) ゲストの嗜好にあった食事計画の実施

メニューアンケートを実施し、年度後半から食事計画にとりいれ、食事行事については継続して行っている。当初は課題もあったが、担当者と前回の反省を生かした打ち合わせを行い、当初に比べスムーズに食事サービスができるようになった。今後も、連携をしながら取り組んでいきたい。

<月間行事食>

行事食	内容
誕生会	月1回、予定通り昼食で特別食、間食はケーキを提供。
毎月1日のお知らせ	毎月1日の赤飯と天ぷら盛り合わせに固定。
おやつ作り	月2回、間食を4～5名のゲストと作り提供した。
スナック狸	月2回、夕食後アルコール提供日として料理は3品から選択。
お好み焼き	月2回、昼食でアルコール提供日として実施。
美味しいお茶の日	週1回、間食時に2種類のお茶から選択。
間食選択	週1回、2種類から選択。
コーヒー喫茶	週1回、3種の飲物から選択。
バイキング	月2回、ゲスト自身が選んでとっていただき好評であった。
汁物作り	月2回、昼食時に3～4名のゲストに作っていただき提供。

<年間行事食>

月	年間行事	内容（主となるメニューを記載）
4月	バイキング	10日) おでん、24日) 魚の南蛮漬、唐揚げ。
	お花見	串揚げを目の前で調理し、揚げたてを提供。
5月	バイキング	8日) 豚と大根の甘辛煮込み、春巻き、焼き餃子
	母の日	ばら寿司、デザート盛り合わせ。
6月	バイキング	12日) エビグラタン、すずきのムニエル、チキンナゲット 26日) お好み丼2種（かつとじ・豚の肉みそ炒め）
	父の日	手巻きすしはゲストから大変好評。
7月	バイキング	10日) 鶏のピリ辛マヨ炒め・揚げしゅうまいのチリソース 24日) おでん
	七夕	具沢山冷やし素麺は13種の具からトッピング。
8月	バイキング	14日) 天ぷら・ばら寿司 28日) 豚肉マッシュルームソース・フライ
	吉祥園夏祭り	露店で人気であったメニューを取り入れた。
9月	バイキング	11日) 高菜とじゃこのチャーハン・サラダバー 25日) 貝柱と湯葉の雑炊・きのこ豚のこってり炒め
	敬老	2Fからのリクエストで中華メニューで実施。
10月	バイキング	9日) うどん、天ぷら5種 23日) スープ・鶏とポテトのトマトケチャップ炒め、生サラダ
11月	バイキング	3日) 塩ラーメン、煮物、鮭のチャンチャン焼き 20日) 栗ご飯・きのこのポタージュ・白身魚のマヨソース

	土鍋ご飯	嗜好調査主食部門で1位であった白ご飯であった為、新米へ切り替わる時期にフロアで土鍋で炊き提供した
12月	バイキング	11日) 4種のパン (ブルーベリー&クリームチーズパン、カルボナーラパン、明太チーズパン、黒糖パン) 25日) クリスマス (ローストチキン、パスタ、ピザ、フルーツポンチ、ポテトサラダ、ケーキ)
	年越しそば	大みそか夕食で提供。
1月	バイキング	8日) 感染症流行により中止 22日) バイキング (すき焼き・魚の西京焼き)
	おせち	感染症流行により、一部変更して提供。
	新年会	アンケートおかず部門一位の刺身を計画していたが感染症流行により中止し、第2位のちらし寿司に変更。
2月	バイキング	12日) 鍋バイキング (みぞれちゃんこ鍋・キムチチーズ鍋) 26日) 鮭ときのこの雑炊・串揚げ4種・筑前煮
	節分	巻き寿司とメッセージカードをのせて提供。
3月	バイキング	12日) ハムカツカレー・サラダ 26日) 鮭とほうれんそうのパイ包み・ハンバーグ
	ひな祭り	ゲストの前で9種類の具でちらし寿司を作り提供した。

6. <<看護部>>

7. <<委員会活動>>

8. <<衛生管理>>

9. <<相談苦情の対応>>

☆大慈弥勒園と同様

10. <<入浴>>

曜日	昼入浴	夜間入浴
月・火・水・金・土・日	15:30~17:00	19:00~21:00
火・金 (男性・女性)	10:00~11:30/13:00~15:00	

★くつろいだ雰囲気の中で楽しく入浴できるような支援を行っていく。

- ・月2回、四季折々の変わり湯を提供。(事前にポスター等で掲示する)
- ・BGMを流す等。

現在、湯船に入れないゲストはデイを利用して頂いている。その分、1グループ45分ずつ時間を取り、仲の良いゲスト同士ゆっくり入浴して頂けるようになった。BGMや花の写真、変わり湯(2回/月、花や葉を利用し季節感を味わう)を実施している。

11. <<職員会議等>>

頻度	会議名		
月1回	正副施設長会議	処遇会議	主任会議
	職員会議	各担当者会議	会計会議
随時	ケアカンファレンス	医務部会	事務部会

○職員会議、処遇会議の実施状況

処遇会議を含め月2回実施している。職員会議は主に行事の話し合いになるが、行事担当が案を出し、それを基に付加価値をつけるため、皆でアイデアを出し合っている。期限や内容など一度に多くが決定され効率は良い。その他共有すべき重要事項の確認、各係、委員会での報告など。また、1回/2~3ヶ月の割合で園長のセミナー、知識向上のためのミニ研修

をしている。来期はテーマを決め、グループ分けでそれぞれ勉強したことを発表し合うようにして行く予定。処遇会議では各ゲストの処遇計画に基づき、個々の問題点を話し合っている。

若い職員が多く、各ゲストの処遇計画やケアプランを把握出来ていない事が大きな課題として残った。書式の変更や記載事項など分かりやすくすることから始めていく。

1.2. 《クラブ活動》

行事名	頻度	人数	講師等	行事名	頻度	人数	講師等
レクリエーション	毎日(グループ毎)	5~10名	職員	テーブルカラオケ	週2回	20名	職員
シルバー体操	月8回(月・水曜日)2部分け	40名	村越先生 浦波先生	折り紙	月1回	2名	外部
華道	月2回(隔週)	10名	段先生	ニコニコツアー	随時	3名	職員
絵手紙	月1回	20名	シルバーカレッジ	体操・嚙下体操	昼 おやつ 夕食時	全ゲスト	職員
書道	月1回	15名	シルバーカレッジ	麻雀	不定期	10名	職員
ビデオ鑑賞会	第1・3土曜日	20名	職員	料理	月1回	7名	職員

★ゆとりのある多様な活動

- ・行事、倶楽部活動、レクリエーションを実施し、生活が単調にならないよう刺激と生活の潤いを持って頂く。また、四季を感じながらの生活が実現できるよう心がける。

①行事

- ・花見、ひな祭りや端午の節句、柚子や菖蒲湯、夏祭り、クリスマス等の季節の行事で季節を感じられるような行事を提供する。(行事食と職員の出し物をトータルで企画し一日楽しめるようにする。また、プチ旅行等の外出の機会を年4回以上設ける。

今年度は特に行事に力を入れた。企画の段階から職員全員で考え、加えて付加価値をつけた。介護度の高いゲストにも出来る限り外出する機会をと考え、年2回のプチ旅行や寿司ツアー、誕生者食事会など4回は外出して頂いた。季節の行事では一日を通して楽しんで頂けるように計画を立て、職員の出し物やゲーム、行事食に加え職員手作りの料理を必ず入れた。出し物の練習や料理を作っている姿、ゲストと一緒に作る飾りなど準備段階からゲストは見ておられ、その分だけ感動したという言葉や感謝の言葉を頂いた。ゲストに感動の涙を流して頂くまでは行かないが、楽しんで頂くことは出来たのではないかと考える。

②クラブ活動

- ・ゲストが主体的に参加し、他ゲストとのふれあいや、生活に張り合いが持てるような活動の場にする。

華道・絵手紙・シルバー体操・元気の出る体操に加え、大正琴を復活させた。特に今年度は運動に重点を置き、シルバー体操・元気の出る体操に力を入れた。各居室を周りお声掛けすることにより、週2回の体操の参加率が15%程アップした。今では殆どのゲストが自ら出て来られ、一生懸命取り組まれるようになった。次年度は50名の参加を目指したい。

③レクリエーション

- ・写真展、壁画、昭和史等を見ながらの散歩をし、運動量をアップさせる。
- ・季節毎の大壁画を作成

- ・レク係りが中心となって実施。記録と評価を取り、内容を充実させ継続できる仕組み作りを行う。
- ・認知症の悪化防止、改善・維持のため、園芸・学習療法や回想法を積極的に取り入れた援助方法を活用、効果的な介護予防に努める。

写真展・壁画・昭和史などを定着させる事が出来た。特に行事毎の写真は楽しみの一つになっており、ゲスト通しが会話する姿が多く見られるようになった。季節の大壁画はレクの一環であるが、ゲスト全員の共同製作とした。それにより壁一面の大壁画が完成し、ゲストに達成感を味わってもらえた。現在、認知症のゲストに学習療法・園芸療法を行っている。学習療法では昭和の思い出が詰まった読み書きで、昔を懐かしみながら会話を引き出し、コミュニケーションを取っている。学習直前まで不穏であったゲストが小さい頃を思い出し、いっぱい話をする事によって機嫌良く戻られる。またあるゲストは日に何回も怒って暴言を吐かれていたが今では笑顔で過ごされているなど、学習療法を行ったことで7名中3名のゲストに大きな変化があった。園芸療法は月1回ではあるが、ゲストにとっては心が和み達成感や満足感を味わえる時間になっている。現在6名のゲストが参加されているが、他ゲストが羨ましそうに見ている、「私もやりたい」などの声もあり、次年度は簡単な家庭菜園を実施して行きたいと考えている。

13. 《行事》

月	年間行事名	月	年間行事名
4月	お花見(園内) ボーイスカウト慰問	10月	プチ旅行 (美味しいもん食べよう旅行)
5月	母の日お祝い会、プチ旅行 (何しよう旅行)	11月	大慈園秋祭り、にこにこ保育園交流会招待
6月	ろうごの日、外食ツアー (回転寿司)、父の日お祝い会	12月	つぐみ保育園慰問、クリスマス会、イルミネーション巡り
7月	七夕	1月	正月遊び、書初め、初詣 (諏訪神社)、新年会、餅つき
8月	神戸花火大会、夏祭り (地藏盆)、夏祭り (吉祥園)	2月	節分、バレンタインデー (おやつ)
9月	つぐみ保育園慰問、敬老の日お祝い会 (喜寿・米寿)、秋の彼岸法要 にこにこ保育園お月見会	3月	雛祭り、ホワイトデー (おやつ)、春の彼岸法要

行事名	時期	反省等
お花見	4/3	例年より早咲きし、散り終わった頃の花見となった。厨房チーフによる串揚げと職員手作りの料理を提供出来た。おやつは高級和菓子と抹茶を立てた。
プチ旅行 ・イチゴ狩り	5/16 29 30	車椅子のゲストが沢山参加。今回はサプライズで家族様にも参加頂いた。美味しい焼肉も一緒に食べられ、和やかなひと時を過ごして頂いた。レジェンドにノミネートされた。
プチ旅行 ・水族館	5/8	動物園の予定であったが休園日だったため、急遽水族館となる。イルカショーなど拍手喝采。のんびりと魚を見て回った。
プチ旅行 すずらの湯	5/15	ゆっくりと温泉に浸かり、座敷でのんびりと過ごして頂いた。食事の仕出し弁当が美味しかった。
プチ旅行 ・NJK	5/22 23	大阪まで行き、吉本を見に行く。特等席を用意出来た。大きな声で沢山笑って貰え、買物も楽しんで頂いた。

プチ旅行 ・花鳥園	6/6	花や鳥を見学しながらゆっくりと散歩して頂いた。昼食は豪華な和食を提供した。
母の日お祝い会	5/12	ゲストの母の思い出を語る。カーネーションとプレゼント、おやつには人気店のケーキを提供した。
寿司ツアー	6月 6回開催	仲の良いグループ6班に分かれて行く。思い思いの寿司を選び、雑談も楽しまれた。普段食事量の少ない方も沢山食べられていた。ツアー不参加のゲストには3班に分け、出前のお寿司を提供した。日頃食事量の少ないゲストも完食されていた。
父の日お祝い会	6/16	父の思い出を語って頂いた。出し物には職員3名による歌の披露を行った。チェリッシュの食事券をプレゼントする。
七夕	7/7	職員による織姫と彦星の登場。ゲストに七夕飾りや短冊を沢山作ってもらう。七夕の話、職員の歌の披露を行った。
吉祥園夏祭り	8/11	家族様52名が参加され、賑やかな祭りとなった。露店やゲーム、職員手作りの料理も食べて頂いた。出し物はエイサーやキャリーの踊りを披露した。ゲストや家族様から沢山感謝の言葉を頂いた。
迎え火・盆供養・送り火	8/13~15	暑い中多くの方が参加。お供えなどをし、供養される方も多い。
にこにこ保育園 お月見会	9/7	5名参加。今回は認知症のゲストに参加頂いたが、雨天のため室内で実施となった。子供達とふれ合い、楽しい時間を過ごされる。
つぐみ保育園 慰問	9/16	園児より手作りのプレゼントを頂く。太鼓と歌の披露あり、拍手喝采だった。子供たちを見る目は本当に嬉しそうである。
敬老お祝い会	9/23	喜寿・米寿6名。出し物でエイサー・漫才を披露する。笑いが絶えなかった。ハーバー大慈より三笠饅頭を頂く。
大慈園秋祭り	9/29	園内で実施。露店等はなかったが、家族様も多く参加頂き大変盛り上がった。出し物のコーラスは大変喜んで頂いている。キャリーぱみゅぱみゅの踊りを男女6名で披露し、大きな拍手を頂いた。
プチ旅行 ・鰻	10/2 17 21 28 31	5回に分けて元町の鰻専門店へ行く。高級鰻が大人気だった。鰻店は初めてであったため、トイレ・駐車場など下調べを丁寧に行った。「とっても美味しかった。また行きたい」との声が多く出ていた。
プチ旅行 ・フランス料理	10/3	初めてのフランス料理。5名が参加。緊張されていたが、ゆっくり料理を楽しまれる。
プチ旅行 ・天ぷら	10/17	天ぷら専門店へ出かける。新鮮で揚げたての天ぷらを提供。「美味しい 美味しい」の声を連発されていた。
プチ旅行 ・王将	10/24	普段食べていない物を提供したいと思うが、何故か男性ゲストから人気がある。それぞれが好きなものを注文される。「腹いっぱい」と満足気である。
プチ旅行 ・園内食事会	10/30	プチ旅行不参加のゲストに対して豪華な仕出し定食をご用意する。普段食事量の少ない方も8割以上食べられていた。特に刺身が好評だった。
にこにこ保育園 交流会	12/17	ゲスト5名が参加。「とっても楽しかった。有難う」の声を全ゲストから頂く。帰園後もその話題で盛り上がった。
クリスマス会	12/22	職員の楽器演奏によるクリスマスソングとハンドベルを行った。職員サンタがお一人ずつクリスマスプレゼントをお渡しする。昼食はオードブル、職員手作りのポテトサラダやおにぎりを提供した。
新年挨拶・正月遊び(元旦)	元旦	ノロ感染症流行で、棟別に分かれて正月遊びを行った。こじんまりとし寂しいお正月となった。来年は是非とも全ゲストでお祝いし、遊びたい。諏訪神社への初詣も中止となった。

新年会・豆まき	1/19	ノロ感染症流行で新年会が中止となったため、豆まきと一緒に実施した。鬼に扮した職員が漫才と落語を行い、ネタが面白くなかったら豆を投げる演出だったが沢山の笑いが取れた。
雛祭り	3/3	職員によるちらし寿司作りを全ゲストの前で行った。派手なパフォーマンスで具を入れ、かき混ぜる様は大拍手だった。歌手のすずな氏が来園。3階のゲストも参加、楽しんで頂けた。おやつは美味しい緑茶と高級和菓子を提供した。
春の彼岸法要	3/25	大勢のゲストが参加。個別にお供えされ拜まれる方もおられた。

毎月の定例行事

誕生者会食（第3木曜日）、お誕生日会（第3月曜日）、スナックたぬき（第1・3木曜日）、お好み焼（第2・4日曜日）、健康チェック（体重・血圧測定）（月末）、コーヒー喫茶（毎木曜日）、ゲスト話し合い（第2火曜日）、買物ツアー・にこにこツアー（毎週月曜日）、おやつ作り・汁作り（各2回/月）、バイキング（2回/月）、料理クラブ（1回/月）、理髪（第2月曜日）、おやつ選択（毎週日曜日）、おいしいお茶（毎週月曜日）、変わり湯（2回/月）、学習療法（3回/週）、園芸療法（1回/月）、

行事名	曜日	反省
バイキング	水曜日	其々一通り食べられ、好きな物をおかわりされている。内容が豪華なこと、また2班に分かれることで普段よりゆっくり食べられている。レストランのバイキングをイメージし、白シャツ、シェフ風エプロン、「いらっしやいませ」の声掛けで雰囲気盛り上げた。
誕生者食事会	第3木曜日	今年度は「和食」の和食を利用させて頂いた。全ゲストが参加できた。来季は高級焼肉を予定している。
お誕生日会	第3月曜日	誕生日行事食（炊き込みご飯）とプレゼントを贈呈した。
スナック狸	第1・3木曜日	ノンアルコールビールを提供するようになり、参加人数が増えてきた。カラオケや談笑でゲストには楽しみの一つになっている。少しでも多くの方に参加して頂くため、ジュースなど飲み物の種類を増やしたが、飲用する方がなく中止となった。
おやつ作り 汁作り	第1・3土曜日	主に認知症のゲスト（4名）にお手伝いして頂いている。1年間通すと慣れて来られ、楽しみの一つになっている。美味しく出来上がっており、とても好評である。
ニコニコツアー	毎月曜日 PM	お一人で外出できないゲストが対象。（1～2名）買物や散歩を楽しんで頂いた。
買物ツアー	毎月曜日 AM	ご自分で買物が出来るゲストが対象。一人で外出は出来ないが買物は好きという方のケアプランの一つになっている。

14. <職員構成>

施設長	生活相談員	支援員	看護師	栄養士	事務員	介護支援専門員
1名	1名	14名	1名	1名	2名	1名

15.《総括》

施設目標でもあるレジェンドは結果的には達成し、自立支援においてもある程度の成果は得られたと考える。自立支援では水分量 1500ml をほぼ達成し、生活リハでも諦めず続けることでADLのアップに繋がった。対象ゲストに留まったがADLをアップさせることで自然にQOLも上がることを認識できたように思われる。行事では特に力を入れ、付加価値を付けていく事にこだわった。その事で行事の企画力や完成度が上がった。吉祥園ゲストの行事への思い入れや期待が全体的に大きい事もあり、来期では季節の行事の中からレジェンド1件出したい。チーム力の向上では余り良い成果は出なかったが、個々の力や全体の力が弱いためである。育成力が足りなかったこと、職員のモチベーションを維持できるような管理が出来なかった責任がある。職員の半分近くが新人だったこともあり、業務を教えていただけのように感じる。来期では3名智音園への移動に伴い、新人3名を採用する予定。中堅職員がいない中、支援員リーダーが産休に入る。焦っても仕方がない状況にあり、これを機に業務を見直し、基本から丁寧にゆっくり育成（特に接遇面）していきたい。